

20120121 現代政治戦略研究会議事録 その2

テーマ； 「石巻の小児医療の現状」

発表者； 水上直人氏

### 1. 石巻の医療機関の状況

1月20日現在、病院、診療所の約9割再開した（病院7+診療所85）。しかし、救急体制は、石巻赤十字病院が中心に担当。かなり負担となっている

小児科を診療科目に入れている病院、診療所は20。その中で、実際に小児科中心の診療を行っているのは7（石巻赤十字病院+7診療所⇒うち一つは当院）

小児の入院病床は石巻日赤病院の20床のみ。医師は5名体制で24時間365日対応（週2回程度当直）。休日でも24時間で平均150名程度が来院し、そのうち小児科対象患者が約50名来院し、救急担当医が対応できず小児科医が対応するのは、約25名程度となっている。その為、当直医は病棟管理と救急外来対応で、休まず対応をしなければならない状況下にある。

⇒石巻赤十字病院に、本来の機能である、高度医療分野に特化した医療に取り組んでほしい。

### 2. 石巻の医療圏

石巻赤十字病院の医療圏は約30万人の医療圏。石巻市だけでなく、近隣の市町村の医療も担っている。

石巻赤十字病院で対応できないものについては、仙台へ搬送している（交通事情にて約1時間半かかる。朝夕のラッシュ時は2時間！）

なお、女川町も医療過疎状況にあり、女川医療センター（医師が5人しかいない）のみの状況。小児科は週1回、毎週水曜日に東北大学から派遣されてくるのみ。

### 3. 偏在する医療

病院、診療所は、石巻港と石巻駅周辺に偏在

仮設住宅（約2,000戸）付近に、医療機関がない

⇒4月末より市立病院の仮設診療所が開設される予定。佐久総合病院にいらっしゃる、地域医療に長年取り組まれていた、長純一先生が赴任予定。

日経記事転記

[http://irohira.web.fc2.com/c68\\_HoumonShinryou.htm](http://irohira.web.fc2.com/c68_HoumonShinryou.htm)

以上